

平成27年度 産業経済部長「政策宣言」達成状況報告

産業経済部長 稲垣和成

○ 平成27年度重要事業

事業名	第35回全国豊かな海づくり大会に向けて
目標	富山県実行委員会や関係諸団体と連携し、大会の開催に向け準備を整えるとともに、開催地射水市を全国に発信していきます。また、市内PRを強化し、市民の機運醸成を図り、県内外からお越しのお客様を「おもてなし」の心でお迎えします。
年度末達成状況	本市が中心となって開催した関連行事（水産業の企画展示・物産販売等）には、県内外から3万人以上の来場があり、本市の魅力を満喫していただきました。
自己評価	大会の開催決定以来、関係団体や市民の機運の盛り上がり、また多大なご協力もあり、来場者の方からは、高い評価をいただき、予想以上の成果があったと感じています。

事業名	地方創生の推進
目標	富山新港や小杉ICなど交通の要衝に加え、北陸新幹線の開業により首都圏及び新幹線沿線地域との時間的距離が大幅に短縮し、利便性が大きく向上しました。この機を捉え、企業誘致活動をより積極的に進め、雇用環境の充実を図り、市の魅力度を高めます。併せて、UIJターン施策等を実施し、定住、半定住人口を増やし、射水市創生につなげます。
年度末達成状況	今年度、コールセンター、大型商業施設が開設、開業しました。これにより、地域経済、雇用に大きな効果をもたらしたとともに、市の魅力度も向上しました。また、学生を対象にした企業訪問、企業説明会等も行いました。
自己評価	地域経済や雇用に一定の成果がありました。今後も引き続き、企業の誘致に努め、地方創生の一端を担ってまいります。UIJターン施策の効果等については、今後検証します。

事業名	知名度の向上
目標	本市の知名度向上にまたとない機会となる、曳山をテーマにした映画の全国公開が平成28年に予定されています。公開後は、多くの観光客が期待できることから、ロケ地のみならず、市街地への回遊策等を講じ、「いみずの魅力」の体感、実感により、射水ファンの獲得に努めます。
年度末達成状況	映画公開以降、ロケ地内川周辺は観光客が増加し、賑わいをみせています。観光客には、ロケ地マップの活用や設置した案内看板等により、「いみずの魅力」を楽しんでいただいています。また、観光客の回遊策については、今後周遊バス（実証運行）や遊覧船の運行等2次、3次交通の取組を進めます。

自己評価

映画はもちろん、それ以外においても射水市がマスメディアに取り上げられたことや県外での観光PRにより、本市の知名度の向上が図られました。また、観光客の回遊性を高めるための取組も前進しました。